日本に初発見のハリガネゴケ属の高山性種

櫻 井 久 一

Kyuichi SAKURAI: Über die neuzufügbare alpine Brya zur japanischen Flora.

1953 年 5 月 8 日受付

1. *Bryum alpinum* L. (Alpiniformia) in Mant. Musc. 2: 309; Bryol. eur. Fasc. VI-IX. p. 76. [和名] タカネハリガネゴケ
Shikoku: Prov. Iyo, Saijo, Nakano (Leg. K. Oti in Herb. K. Sakurai No. 21999 25-Jan.-1948).

欧米の高山に広く分布し朝鮮より報告あるも日本フロラとしては新品である。伊予西条市中野の流水の岩上に産す。越智君の採品である。本品は嘗て余が日光華嚴瀑下に採集し *Brotherus* により新種と記載されたタキミハリガネゴケ (*B. pulchro-alare*) と極めてよく似ている。

2. *Bryum cyclophyllum* Br. et Schimp. (Leucodontium) in Bryol. eur. Fasc. VI-IX. p. 63.

Honshu: Prov. Musashi, Chichibu (Leg. I. Nagano in Herb. K. Sakurai No. 32007 2-Oct.-1952). Prov. Kai, Mt. Akaishi, Koshibugawa (Leg. N. Takaki in Herb. K. Sakurai No. 32003 17-July-1949). [和名] ランエフハリガネゴケ

本品も広く欧米の高山に分布するが日本フロラ新品である。赤石山麓小澁川沿岸の岩上及び秩父太陽寺の湿岩の上に産す。葉腋より絲狀の無性芽を出す特性がある。

3. *Bryum Blindii* Br. et Schimp. (Argyrobryum) in Bryol. eur. XXXII, Suppl. p. 11.
Honshu: Prov. Shinano, Shirouma-Yari-hot spring (Leg. N. Takaki in Herb. K. Sakurai No. 32115 1-July-1949). [和名] スズフリハリガネゴケ

本品は信州白馬山鍾澗温泉の岩上にて高木君により採集された珍品で子嚢は大きく且つ著明な西洋梨子型をしている。欧州アルプス及びロッキー山脈に分布す。

4. *Bryum cirrhatum* Hoppe et Hsch. (Caespitibryum) in Regensb. Bot. Ztg. (1819); Bryol. eur. Fasc. XXXII. Suppl. p. 8.

Honshu: Prov. Kai, Mt. Akaishi-Higashidake, 3000 m. (Leg. N. Takaki in Herb. K. Sakurai No. 32001 17-July-1949). [和名] クモマハリガネゴケ

甲州赤石岳東岳の頂に産す。高木君の採品で日本フロラ新品であるが信州白馬山及び秩父にも同一品と考定される標本がある。欧州アルプス及び米国の高山に分布す。

5. *Bryum capillare* Hedw. (Trichophora) var *flaccidum* Br. eur. in Rabenh. Kryptg. fl. Erg. bd. IV.

Honshu: Prov. Iwashiro, Hochmoore Oze (Leg. T. Maeda in Herb. K. Sakurai No. 32117 6-Aug.-1950). [和名] コモチハリガネゴケ

岩代尾瀬ヶ原抛水林下にて前田禎三君の採品で変種は日本フロラ新品である。本種も絲狀の無性芽を出す特性がある。

6. *Bryum erythrocarpum* Schw. (*Erythrocarpa*) in Rabenh. Kryptg. fl. Erg. bd. IV.
Honshu: Prov. Kai, Mt. Arakawa, 2900 m. (Leg. N. Takaki in Herb. K. Sakurai No. 32112 17-July-1949). [和名] アカミノハリガネゴケ
甲州荒川岳山頂にて高木君の採る所である。日本フロラ新品で欧州アルプス及び米国の高山に分布している。
7. *Bryum pendulum* (Hornsch) Schpr. (*Anaglyphodon*) var. *longisetum* Warnst. in Rabenh. Kryptg. fl. Erg. bd. IV.
Honshu: Prov. Shinano, Mt. Shirouma-Shōzu (Leg. N. Takaki in Herb. K. Sakurai No. 32004 1-July-1949). [和名] ナガエノシダレハリガネゴケ
信州白馬山清水岳の頂に産す。莖柄 5 cm. を超え子嚢は長きヘチマ型。変種は日本フロラ新品で高木君の採品である。欧州アルプスに産す。
8. *Bryum turbinatum* Hedw. (*Leucodontium*) in Schwaegr. Suppl. I, II p. 110.
Honshu: Prov. Kai, Mt. Akaishi (Leg. N. Takaki in Herb. K. Sakurai No. 20083 17-July-1949). [和名] オクヤマハリガネゴケ
甲州赤石山針葉樹林下に産す。日本フロラ新品で高木君の採品である。欧州アルプス及び米国の高山に分布す。

本 会 記 事

各 支 部 消 息

東北支部

臨時総会及び14回例会(昭和28年4月25日, 於東北大・理学部) (1) 臨時総会: 会務報告・支部幹事改選 (2) 例会, 講演: 1) マイズルソウ群落内の有花個体数について(飯泉 茂, 東北大・理) 2) ヤマトキホコリについて(岡部作一)

東京支部

例会(昭和28年3月7日) 三河島汚水処分所見学

大会(昭和28年5月8日, 9日; 於国立科学博物館) (1) 講演: 1) 光発芽種子の発芽における糖の変化について(石川茂雄, 下河原五郎), 2) ラビリンス菌の研究(大久保真理子), 3) オジギソウ葉枕の細胞生理学的研究(鳥山英雄), 4) 二三のハナヤスリの形態について(野津良知), 5) ノキシノブの葉の吸水についての再研究(中野治房, 岡 孝), 6) ヒトエグサ・ハバノリ・カヤモノリの胞子放出, 游泳ならびに着生について(須藤俊造), 7) 伊豆西海岸のアゼトウナ(小野記彦, 酒井文三, 武丸恒雄), 8) 植物の体系と系統(木村陽二郎), 9) ハナショウガ属植物の種子成分の研究(木村雄四郎), 10) 空中窒素固定藍藻のタンクによる培養について(渡辺 篤), 11) 四国及び南九州の車軸藻類について(加崎英男) (2) 科学映画: 結核の生態, 稲の一生 (3) 総会: 会務報告, 次期支部選定の件 (4) 見学会(昭和28年5月9日) 堀切菖蒲園, 朝日ビール吾妻橋工場

名古屋支部

第26回例会(昭和28年1月31日, 於静岡大・文理学部) (1) 研究発表: 1) 東海地方の植物分布について(杉本順一), 2) 離層形成について(木下三郎, 和田清美, 静大), 3) センマイ科の気孔について(近藤武夫, 戸田英雄, 静大), 4) セキショウの生化学的研究(遠藤庄三, 静大) (2) 教科講義: 単子葉と双子葉(子葉の形態学)(熊沢正夫, 名大)